



校訓 「自立 協同 創造」
校是 「生きるとは 分かちあうこと」

養父市立養父中学校 学校だより
(令和7年5月7日) 第6号

学校教育目標「しなやかな強さをもち 協働的・創造的に活動できる生徒の育成」

授業参観

5月2日(金)の授業参観におきましては、多くの保護者の皆様にご来校いただきました。たいへんお疲れ様でございました。やや緊張ぎみながらも、いつも以上にいきいきと授業に臨む生徒たちが多かったように感じましたし、いつも以上に生徒の意見を引き出そうとする教員の様子などが垣間見えたように感じました。

いっぽう、授業参観において保護者の私語が鳴り止まないことに苦悩する学校が少なくない中、今回の養父中学校の保護者の皆様は、真剣に授業を見てくださる方が多くて、とても嬉しかったという声が教員から出ています。各教員はこの日に向けて入念に授業計画を進めてきていますし、生徒もそれに呼応して最大限に力を発揮しようと頑張ってくれました。それを保護者の皆様にしっかりとご覧いただいたということなら、これ以上の喜びはありません。



持続可能なPTA活動

4月17日(木)のPTA合同委員会において“学校長あいさつ”の機会を頂戴しましたので、以下のような話をさせていただきました。

「我が国におけるPTA活動は、太平洋戦争直後の占領政策の中で、アメリカから持ち込まれたものであるとされています。当時は、女性の社会進出があまり進んでいない時代でしたし、三世帯同居という家族構成が主流の時代でした。つまり、お母さん方を中心にして、比較的家を空けやすい時代であったと言えるでしょう。しかしながらそれからすでに70年から80年が経過し、世の中は大きく変わりました。女性の社会進出や核家族化が進み、保護者がPTA活動のために学校へ出かけるということが難しくなっているのです。また、教職員の多忙化が進み、PTA活動を重荷に感じる教職員が増えているのもまぎれもない事実です。したがって、従前のPTA活動を踏襲するというかたちはもう時代に合わないということで、全国的にPTA活動の在り方やその存在意義などが広く議論されている状況にあります。養父中学校では、すでに一昨年度、昨年度とPTA活動のスリム化を推し進めてこれたということですが、今年度もPTA会長様とも相談し“持続可能なPTA活動”を合言葉にPTA活動のスリム化を継続してまいります。負担に感じるPTA活動から、楽しみを感じるPTA活動になりますように、皆様のご理解をよろしくお願いいたします。“前からやっていることだから続けなあかん”ではなく、スリム化できるところは思い切ってスリム化していただいて結構です。よろしくお願いします。」



校外での生徒の様子

4月に校外での生徒の様子について地域の方から注意を受けることがありました。自転車通学生の交通マナーについてです。すぐに、交通安全担当や生徒指導担当から全校生向けに注意喚起の指導をしたことは、4月25日（金）の学校HP「トピックス」でお伝えしたとおりですが、自転車通学生のみならず、すべての生徒の登下校マナーやあいさつの励行等について、各ご家庭でのご指導を是非ともよろしくお願いします。



思い起こせば、昔（25年～30年前）はもっとたいへんな苦情が地域から学校に寄せられました。（※旧八鹿中学校での話）「万引きを見つけたので迎えに来い！」「橋の下でたばこを吸っているからすぐに来い！」「神社にたむろして困っている！」「ヘルメットをかぶらない生徒が居るから交通立ち番をしろ！」・・・など数え切れません。時には「お前の学校ではどんな教育をしとるんや！」と、今の世相であれば、“カスタマーハラスメント”となるような辛辣な言葉を投げかけられたこともあり、苦しかったあの頃の事をふと思い起こし、涙が出ることがあります。

教員の働き方改革（業務改善）

多忙な学校現場の現状がよく新聞等で報道されています。そして、そのことが教員志望者の減少に影響を与えているとも言われます。果たして多忙な学校現場と教員志望者の減少との間にどのような因果関係があるのかよく分かりませんが、全国の教員が正規の勤務時間を大幅に超過して仕事に励んでいるのはたしかに事実です。ちなみに、養父中学校の教員の正式な勤務開始時刻は8時00分であり、勤務終了時刻は16時30分です。しかしながら、生徒の登校まです出勤しようと早めに出勤する教員も少なくなく、午前6時台には学校が開きます。また、部活動、生活指導、PTA活動、家庭訪問をはじめ、多様な用務のために夜遅くまで勤務する教員も多いです。人と人とのつながりを大切にする職業である以上、ある程度の超過勤務はやむを得ないというものの、次の日も元気に生徒と対峙するためには、教員の勤務時間を縮減することは急務です。学校はどうすれば教員の働き方改革（業務改善）を実現することができるかを思案するのですが、そのためには保護者の皆様のご協力が必要な面もあります。例えば、提出物の期限を守っていただくとか、懇談会は所定時間内にお越しいただくとか、学校への長時間電話を控えていただくこと等が教員の負担軽減につながるのです。



また、毎週一度の“定時退勤日”を設定して、教員の働き方改革（業務改善）を推進しようとする学校が全国的に増えつつあり、養父中学校でも、水曜日をそれに設定しています。とは言っても、16時30分の退勤は到底無理なので、18時00分までの退勤をめざして業務を進めるようにしています。よって、18時00分を超える電話等には原則として対応できません。なにとぞご理解をくださいますようお願いいたします。

いっぽう、保護者や地域の方による理不尽な要望や威嚇的行為に悩まされている学校も少なくありません。学校全体ではなく我が子のことしか考えていない意見を述べたり、都合も聞かずに学校へ乱暴な口調で怒鳴り込んできたり、いくら丁寧に説明しても受け入れようとしなかったり等による教職員の精神的負担は深刻な問題であり、正常な学校運営を妨害するものであると言わざるを得ません。養父中学校ではくれぐれもこのようなことがないように、今後も本校の教職員を寛容の心で支えていただければ幸いです。